



はぐくみ



学校だより
令和4年7月12日 第4号
那覇市立識名小学校
校長 工藤 直也

新校舎・体育館完成予定は令和5年3月

現在、工事が進んでいる校舎、体育館、プールの改築工事について、当初の予定では令和5年3月末までに完了することとなっております。工事関係者からは、今後の進捗状況により、12月頃には予定通りに完成するかなど、はっきりしたことが分かるだろうと聞いています。新しい情報が入り次第お伝えしていきます。

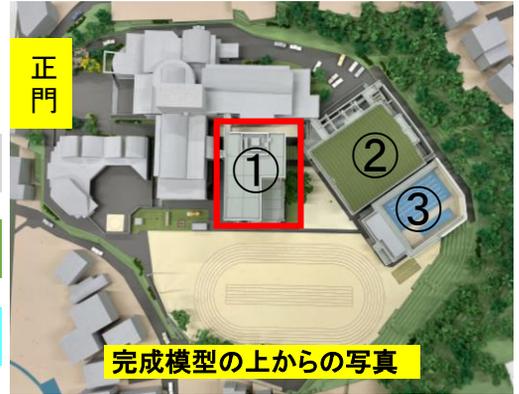


運動場側から見た様子

①新校舎

②体育館

③プール



正門

完成模型の上からの写真

<新校舎の概要と教室等配置予定>

4階建て、2階、3階、4階部分で渡り廊下で既存校舎とつながる。

1階：特別支援教室3、会議室2、相談室2、児童クラブ 他

2階：教室4、会議室1、屋上広場、渡り廊下 他

3階：教室4、配膳室、渡り廊下 他

4階：教室4、配膳室、渡り廊下 他

※2～4階にはそれぞれ1つの学年を配置する予定で学年等については未定。

※プールは体育館となりの屋外に設置（大プールと小プール）

小中一貫の取組（識名小・石田中）

那覇市の小中一貫教育とは… 義務教育9年間を連続した育ちとして捉え、課題を同じグループの小中学校で共有し、一緒に手立てを考え実践し、発達の段階を意識したより効果的な指導に取り組む教育のことで。識名小、石田中においても「自ら学び 感性豊かな 心身ともに健やかな児童生徒の育成」という共通目標のもと取り組んでいます。小中それぞれの教員が互いに学校を行き来するなどして、地域の実態や発達の段階に応じた、めざす児童生徒像の共通理解と指導観を共有し共通実践を進めています。



中学校の体育教員が小学校の授業に加わり、担任と一緒に指導をしている様子。
マットの授業で後転のコツについて教わりました。



中学校の研究授業に小学校教員も参加しました。小学校教員は今の児童の姿と照らし合わせ、小学校での取組がしっかりと中学校へつなげていることを実感しました。

識名小放課後子ども総合プラン会議

識名小学校の全ての児童の放課後における安全・安心な居場所の確保を図る事などを中心に



繁多川公民館にて

地域の関連施設の方々が繁多川公民館に集まって議論しました。放課後の子どもたちの様子で気になることは、第一に安全面、そして社会のルールを守るなど社会性をしっかりと身につけることなどがあげられました。地域をあげて、子どもたちを見守ろうとする体制に感謝します。

やる気の差は結果の差

先日、防災に関する講話を聞く機会がありました。その中で、講師が何度も口にしていたキーワードが「やる気の差は結果の差」です。「災害は忘れた頃にやってくる」は以前の話で、今は「災害は忘れないうちにまたやってくる」と考えた方がよい。また人間は忘れる生き物だから「喉元過ぎれば熱さ忘れる」などとも言われるが、そのような考えでは災害から命を守るとはできないという事でした。個人個人がやる気を持って防災を考えるとともに、学校、家庭、地域が連携した減災について取り組むことがこれまで以上に重要になってくるとの事でした。防災、減災について学校でも今後どのようなことが必要なのか考え、家庭・地域と連携して取り組んでいきたいと思います。

家庭学習強化月間の成果を将来に生かそう

保護者の皆様には、お忙しい中、6月に実施した、家庭学習強化月間の取組へのご協力ありがとうございました。お子さまの学習のチェックや励ましの様子がうかがえました。先月もお伝えしましたが、

この取組を通して、発達の段階に応じ、自分で考え計画して実行する力をつけさせたいと考えています。予測困難なこれからの社会を生きていく上でとても大切な力です。これから始まる夏休み中などの長期休業期間においても、事前に学校でそのことを意識させて参りますので、引き続き各家庭のご理解、ご協力よろしくお願ひします。